大阪市教

2019年10月3日
VOL. 562

発行　大阪市学校園教職員組合
大阪市中央区法円坂1-1-35（大阪市教育会館内）
TEL 6910-8700　FAX 6910-7990

維新 大阪市解体へ暴走

学校給食無償化を

市対連 開会日宣伝

市会開会日宣伝＝9月18日

よくする会＝9月25日

市対連交渉＝9月5日

大阪市対策連絡会議（市対連）は大阪市会開会の9月18日、「大阪市廃止の大阪都構想　ウソの〝経済効果〟で住民投票へ暴走　特別区の都市計画権限は市町村未満　市民サービス低下はダメ　学校給食無償化を」と訴えるビラを淀屋橋で配付し、ランチタイム集会&パレードを行いました。（明石市は中学校の給食を保護者の所得に関係なく完全無償化する方針を決定。中核市初。9月28日報道）

9月12日の大都市制度（特別区設置）協議会（法定協議会）では、会長の今井豊府議（大阪維新の会幹事長）が、都構想の大枠を定めた具体案を年内に取りまとめる考えを示しました。

市立高校府移管発言

松井市長は就任早々の会見で市立高校の府移管を発言していましたが、9月2日の夕刊各紙は市立高校21校の2022年府移管を報じました。市高教は「市立高校は歴史的には大阪市民の要求を元に設立され、地域と共に発展してきた市民の財産…『都構想』を謳い政令市である大阪市を廃止してそれらの権限を府に委ねようとし…『私立高校』を恣意的に利用」と移管反対の声明を出しました。

維新のフェイク 市民と対話を

大阪市をよくする会は9月25日地域・団体代表種会議を開き、「都構想」・カジノを打ち破るために、「市民をフェイクの呪縛から解放する対話運動を！腰を据えて！」「批判・説得ではなく、『Qあなたは、なぜ維新なん？』からはじめる」「リスペクト精神で、相手の話を聞き、共感できるところはないか？の姿勢で」全有権者規模の対話活動を提起しました。

法定協議会委員の山中智子市議（共産党議員団長）は、「大阪市の財政が好転し、マイナスシーリングが今年度で終わる見込み。中学校の体育館へのエアコン設置が行政区1カ所から全中学校となった。今こそ災害に強く、市民にやさしい街に、政令市の財源、大阪市の力を発揮できる時期」と発言しました。

市対連交渉

市対連は9月5日、来年度の大阪市予算に関する要望書に基づく交渉（教育行政）を行いました。

学校給食無償化は「財政状況から困難」と回答。就学援助の認定率は17年度24・5％（08年度38・1％）、講師不足は9月1日時点で40人である事が明らかになりました。

テスト漬けの教育政策を改めること、幼稚園民営化計画（案）の撤回、心臓二次検診を土曜日に実施しないこと、特別支援サポーター削減ではなく特別支援教育の充実、妊娠障害休暇を14日に戻すこと、事務職員の配置の改善などを要求しました。

市労組連

技能職 2級班員創設 昇格基準を改善せよ

市労組連は管理作業員、給食調理員等の技能職員が2級（主任）にならなければ退職まで1級最高号給27万6800円止まりという低い給与水準の改善を求めてきました。昨年の賃金確定交渉では昇格基準改善を検討しているとの回答を引き出していました。

市側は「業務主任を補佐する役割等を担う2級班員を新たに創設」、「業務主任に任用されなければ、技能労務職給料表2級76号給を超える号給に昇給することができない」、選考試験（論文2割、人事考課8割）を11月～12月を実施することを提案しました。

新ポスト設置の規則改正後の協議となったことについての市側の謝罪があり、受験資格者の枠拡大要求に応え、人事考課区分2以上から所属平均点以上と修正され、1級職員の処遇改善の側面があると認識し今後も改善に向けて協議をすすめたいとの表明をうけ協議を進めています。市独自の現業管理体制を止め大阪府のように経験年数等を考慮した昇格基準へと見直すべきです。

連続講座

学どの子も伸びる力づくり

第4回先輩のワザ伝授が東南支部の主催で9月7日に行われ、約30名が参加しました。

講師は「学力の基礎をきたえどの子も伸ばす研究会」常任委員で前東南支部長の図書啓展さん。

「学力づくり」というテーマで、学力づくりで学級づくりをする実践について話しました。

都道府県を地方ごとにまとめ暗唱して覚える「かっとばせ都道府県」、音読や新出漢字の指導など、楽しく学びながら基礎となる学力を伸ばす指導の工夫やユニークなアイデアが盛りだくさん。参加者は体験しながら「楽しい」「明日からやってみよう」と、活気のある学習会となりました。

（参加者の感想）

○「どの子も伸びる」という言葉はどの子も見捨てないということをすごく感じたお話でした。自分の学年では国語の学力が低いという悩みがあります。国語の導入として、最初に漢字の学習を行い、やる気を上げていきたいです。

○基礎基本の学習はとても大切だと改めて感じました。今、学校では授業の流れやノートの書き方まできまりを作られ、やりづらいです。漢字・計算の力をこつこつとつけていこうと思いました。

育鵬社歴史教科書

ファクトチェック100

戦争美化の教科書を子どもたちにわたさない大阪市民の会・教科書を読む会は毎月あべの総合法律事務所で育鵬社中学校歴史・公民教科書を読み続けています。

来年、育鵬社（日本会議）系教科書を採択させない取り組みを強めるため、「ファクトチェック（真偽検証）100」を作成しました。（育鵬社●、批判○）

●「自存自衛」の戦争としたうえで、大東亜戦争と名づけP234

○責任はアメリカの強硬案ハル・ノートとし、マレー半島、真珠湾攻撃を自衛と強弁

●占領が終わり…憲法改正や再軍備を主張する声が上がりましたP255

○多数の国民は平和憲法を支持。特定の意見の記述は歴史を歪めている

●清…出兵…わが国も…出兵したため、両軍は衝突し、日清戦争が始まりP189

○開戦の口実を失った日本が朝鮮王宮を占領し朝鮮国王を虜にし戦争を開始

●独立への希望…ネルー…孫文…日本の勝利がアジア諸国に与えた感動を語P192

○ネルー「侵略的帝国主義諸国のグループに国を加えた。苦い結果をなめたのは朝鮮」

生野区西部の連合振興町会会長、現・元小学校PTA会長8氏が「統廃合ありき」ではなく、いったん立ちもどることを求める陳情書を9月12日大阪市会に提出。地域ではポスターが張り出されています。

たんぽぽだより

10月

2学期が始まって1カ月が経ちました。残暑も厳しい中で、運動会に向けての練習などが毎日あると、本当に慌ただしく日々が過ぎていったのではないでしょうか。ふと気がつくと、17時を過ぎ、そこからようやく明日の準備などに取りかかり、退勤がどんどん遅くなる。そんな毎日を過ごしていると、身体も心もへとへとになっていきます。そういう人こそ、仕事終わりや休みの日などに、自分の時間を持つことが大切です。来たる10月12日に、教研集会が開かれます。その中で、「自分の時間を大切に」をテーマに、先生の本当の仕事とは何か、より良い働き方とは何かを考える分科会があります。講義の後、簡単にできるヨガやメイクアップについても学ぶことで、以前より気持ちにゆとりを持てるようになるはず。他にも魅力的な分科会が多数ありますので、是非参加してください。